

年報発刊にあたって

京都府保健環境研究所は昭和24年に京都府衛生研究所として設立され、昭和54年衛生公害研究所として現在地に新築、平成6年に現在の名称に変更、今日まで一貫して京都府民の健康安全を守るため努めてまいりました。

最近、バイオテロなど健康危機管理の重要性が益々大きくなるなか、当研究所の任務としましては、1) 細菌・ウイルスなど感染症、外国からの輸入が増加している野菜などの残留農薬、水、土壌、大気、放射能などの行政検査、2) 新しい検査方法の開発や検査精度の向上を図る調査研究、3) 保健所をはじめ府の行政機関の職員に対する技術研修、府民の方々への情報提供などがあります。特に府民の皆様に対しましては、ピオトープの観察、青少年地球環境科学教室（理科教室）、いろいろの出前講座などを行っております。

この度、感染症法が改正され、それに伴い細菌、ウイルスなど病原体検査のための施設整備や病原体の安全輸送のための容器の設定、輸送方法や経費について新しく厚生労働省から要請がなされました。当研究所におきましても新しい法律のもとでの検査および実験の可能な設備の整備に向けて全力を挙げて取り組んでいるところです。

次いで、残留農薬検査につきましても、新しい検査制度（ポジティブリスト制）が導入されたため、今までよりも多くの農薬の検査を行わなければならなくなりました。また、昨今の国内外からの食品偽装事件が出てくる中で食品検査についても煩雑になることが予想されます。それに伴い過密な任務となり、検査機器の更なる整備も必要となります。

一方、最近、大きな問題となって来ておりますのは、わが国のいろいろな職場で第二次大戦後に生まれた人たち、いわゆる団塊の世代が次々と定年退職を迎え職場を去って行きます。当研究所におきましても、彼らが築いた検査、調査研究の後進への継承が重要であり、そのために後進の人々の採用が必要であります。しかし、昨今、地方自治体の財政難等から人員採用が非常に困難になっております。今後、団塊の人たちの再任用も是非必要と考えます。

平成18年度の年報の内容につきましては、調査研究4件、学会論文、学会発表などの要旨、行政検査資料報告、その他であります。御高覧いただき、御意見、後批判いただければと思います。

当研究所の職員は府民の皆様の健康安全のため、健康危機管理を充分に行うため緊張感を持ち任務に励んでおりますが、当所は研究所でありますので、研究に対する好奇心と探求心を特に若い人たちは持つように日頃から申しております。

今後とも、関係者はもとより、府民の皆様方の御理解と御支援をよろしくお願い申し上げます。

平成19年11月

京都府保健環境研究所長 井 端 泰 彦

目 次

調査研究

- 1 結核・感染症発生動向調査(2006年)ーウイルス検査ー…………… 1
木上 照子、太田 真由美、渡邊 英史、岡本 裕行、石崎 徹
- 2 感染症流行予測調査事業(2006/2007)
ーインフルエンザ感受性調査、感染源調査及び麻疹感受性調査ー…………… 6
木上 照子、江崎 久雄、渡邊 英史、石崎 徹
- 3 茶中の残留農薬一斉分析法の検討……………14
山田 豊、北野 隆一、中村 昌子、塩崎 秀彰
- 4 京都府南部地域における光化学オキシダント高濃度事象の特性……………20
平澤 幸代、河村 秀一、日置 正、田村 義男

資 料

- 1 新型インフルエンザ対策事業(2005-2006年度)……………29
渡邊 英史、岡本 裕行、石崎 徹
- 2 牛乳の塩素臭について……………31
都築 秀明、柳瀬 杉夫、山田 豊、中村 昌子、北野 隆一、大藤 升美、塩崎 秀彰
- 3 農産物中の残留農薬の検査結果ー平成18年度ー……………33
都築 秀明、柳瀬 杉夫、山田 豊、中村 昌子、北野 隆一、大藤 升美、塩崎 秀彰
- 4 平成17年度のダイオキシン類分析委託機関に対する外部精度管理調査についてー排ガス調査ー……………36
都築 英明、古山 和徳、谷尾 桂子、日下 哲也、鳥居南 豊、中西 理恵、田村 義男
- 5 平成17年度ダイオキシン類分析委託機関に対する外部精度管理調査についてー土壌試料ー……………42
日下 哲也、鳥居南 豊、都築 英明、中西 理恵、谷尾 桂子、古山 和徳、田村 義男
- 6 京都府大気汚染常時監視測定局の見直しの検討結果について……………48
河村 秀一、平澤 幸代、日置 正、田村 義男
- 7 京都府内のアスベスト濃度調査結果について……………56
濱田 幸子、中西 理恵、中西 貞博、新井 浩之、古山 和徳、田村 義男
- 8 京都府におけるフィルターパック法及びパッシブ法による乾性沈着調査……………59
辻 昭博、日置 正、田村 義男
- 9 液体シンチレーション測定法におけるシンチレータの検討……………69
前田 高志、荒木 智徳、宮島 直人、藤波 直人、田村 義男
- 10 大気常時監視テレメーターシステムの更新時における留意事項……………72
河村 秀一、平澤 幸代、日置 正、田村 義男
- 11 平成17年度の京都府内のダイオキシン類環境調査結果とその精度管理について……………76
鳥居南 豊、日下 哲也、都築 英明、中西 理恵、谷尾 桂子、古山 和徳、田村 義男
- 12 水道水質検査機関を対象とした分析精度管理調査結果ー平成18年度ー……………83
鳥居南 豊、坂 雅宏、安田 知生、井上 知明
- 13 京都府内の掛け流し式温泉施設におけるレジオネラ等の実態調査……………87
田口 寛、江崎 久雄、藤原 恵子

要 旨

<著書>

- 1 通知法解説—ジノカップ試験法—……………93
北野 隆一
- 2 第5章第5節「両棲類のリスク評価」……………93
坂 雅宏

<他誌発表>

- 1 日本海沿岸で粒径別連続採取したエアロゾル中の水可溶性イオン種
および微量金属成分による長距離輸送現象の解析—2002年春の黄砂イベントを中心に—……………93
日置 正、中西 貞博、向井 人史、村野 健太郎
- 2 レジオネラ症患者発生に伴うレジオネラ属菌のP F G E解析……………94
藤原 恵子、江崎 久雄

<学会等発表>

- 1 トビケラ中のP C B濃度調査……………94
日下 哲也、茶谷 祐行、出川 香織、吉安 裕
- 2 エストロゲン活性からみた廃棄物埋立処分の境影響評価の試み……………94
中嶋 智子
- 3 粒径別連続採取したエアロゾル中の微量金属成分による長距離輸送と地域汚染の解析……………95
日置 正
- 4 長距離輸送現象のトレーサーとしてのエアロゾル中金属濃度比
—2002年春の黄砂イベントを中心に—……………95
日置 正、中西 貞博、向井 人史、村野 健太郎

CONTENTS

Research Papers

- 1 Surveillance Report of Viral Agents in Kyoto prefecture (2006) 1
Teruko KIGAMI, Mayumi OHTA, Eiji WATANABE, Hiroyuki OKAMOTO and Tohru ISHIZAKI
- 2 Epidemiological Surveillance of Vaccine-preventable Diseases in Kyoto (2006-2007) 6
Teruko KIGAMI, Hisao ESAKI, Eiji WATANABE and Tohru ISHIZAKI
- 3 Studies on Simultaneous Determination of Pesticide Residues in Tea 14
Yutaka YAMADA, Ryuichi KITANO, Masako NAKAMURA and Hideaki SHIOZAKI
- 4 Temporal and Regional Variation in High-Concentration Events of Atmospheric Oxidant
in Southern Kyoto Prefecture 20
Yukiyo HIRASAWA, Shuichi KAWAMURA, Tadashi HIOKI and Yoshio TAMURA

Materials

- 1 Annual Report of New Type Influenza Surveillance in Kyoto Prefecture, 2005-2006 29
Eiji WATANABE, Hiroyuki OKAMOTO and Tohru ISHIZAKI
- 2 Determination of Unusual Odor in Milk 31
Hideaki TSUZUKI, Sugio YANASE, Yutaka YAMADA, Masako NAKAMURA,
Ryuichi KITANO, Masumi OHFUJI and Hideaki SHIOZAKI
- 3 Survey of Pesticide Residues in Agricultural Products — During the Fiscal Year of 2006 — 33
Hideaki TSUZUKI, Sugio YANASE, Yutaka YAMADA, Masako NAKAMURA,
Ryuichi KITANO, Masumi OHFUJI and Hideaki SHIOZAKI
- 4 Quality Control of the Analyses of Dioxins Consigned by Kyoto Prefecture Government in 2005
— Investigation of the Waste Gas — 36
Hideaki TSUZUKI, Kazunori FURUYAMA, Keiko TANIO, Tetsuya KUSAKA,
Yutaka TORIIMINAMI, Rie NAKANISHI and Yoshio TAMURA
- 5 Quality Control of the Analyses of Dioxins consigned by Kyoto Prefecture in 2005
— Sample of Soil — 42
Tetsuya KUSAKA, Yutaka TORIIMINAMI, Hideaki TUDUKI, Rie NAKANISHI,
Keiko TANIO, Kazunori FURUYAMA and Yoshio TAMURA
- 6 Reexamination of air quality monitoring station in Kyoto Prefecture 48
Shuichi KAWAMURA, Yukiyo HIRASAWA, Tadashi HIOKI and Yoshio TAMURA
- 7 Atmospheric Concentrations of Asbestos in Kyoto Prefecture 56
Sachiko HAMADA, Rie NAKANISHI, Sadahiro NAKANISHI, Hiroyuki ARAI,
Kazunori FURUYAMA and Yoshio TAMURA
- 8 Dry Deposition Survey by the Filter-pack Method and the Passive Method in Kyoto Prefecture 59
Akihiro TSUJI, Tadashi HIOKI and Yoshio TAMURA

9	A Study of the scintillator for liquid scintillation counting	69
	Takashi MAEDA, Tomonori ARAKI, Naoto MIYAJIMA, Naoto FUJINAMI and Yoshio TAMURA	
10	Renewal of telemeter system for air quality monitoring	72
	Shuichi KAWAMURA, Yukiyo HIRASAWA, Tadashi HIOKI and Yoshio TAMURA	
11	Quality Control of the Analyses of Dioxins consigned by Kyoto Prefecture in 2005	
	— Sample of Soil —	76
	Yutaka TORIIMINAMI, Tetsuya KUSAKA, Hideaki TUDUKI, Rie NAKANISHI, Keiko TANIO, Kazunori FURUYAMA and Yoshio TAMURA	
12	Overview of a Quality Assurance Workshop on Interlaboratory Chemical Analyses of Tap Water performed in 2006	83
	Yutaka TORIIMINAMI, Masahiro SAKA, Tomoo YASUDA and Tomoaki INOUE	
13	A Survey of the Legionella pollution in Public bathes using hot springs under the flow-through system in Kyoto Prefecture	87
	Hiroshi TAGUCHI, Hisao ESAKI and Keiko FUJIWARA	